

## 1 目的

将来の担い手になりうるGFTグループ会員の技術向上を図ることで、自身の農家所得の安定に繋がるばかりでなく、生産技術や販売実績、農家所得など総合的なスキルを伴うことで、将来に向けた産地の活性化に繋がると思われることから、それらの実現に向けた取組を行った。

## 2 実施状況

### (1) 視察研修の実施

活動内容、効果

- ・実施期日：平成29年9月13日～14日
- ・研修先：宮崎県総合農業試験場  
JA日向管内（美郷町）
- ・参加者：会員9名

宮崎県における、ハウスきんかんの栽培方法のほか産地育成内容など今後の本産地の参考となる取組を見聞きすることができたとともに、会員の意識の高揚が図られた。



※JA日向管内現地視察

### (2) 試験ほ設置の実施

活動内容、効果

- ・調査名：時期別きんかんの内容調査
- ・設置数：4ほ場
- ・調査内容：10日ごとの開花～収穫までの果実品質推移  
横径、糖度、クエン酸等数値推移

きんかんの性質や時期別の品質推移など、今まで知り得なかったことを本調査で確認できたことは、大変大きな成果と思われ、本調査をもとに今後のきんかんの品質向上へ産地として取組んでいく必要があると感じられた。



※結果研修会

## 3 今後の課題、取り組み

本市きんかんの若手農業青年で組織される当グループ活動で得た内容をきんかん専門部会へも情報の提供や今後の産地を見据えた提案など、産地化が更に進むような取組を今後も推進していきたいと考えている。